

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認# 平成 年 月
レジメン名	イリノテカン(A法)(胃がん)		
疾患名	胃がん	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース催吐性リス#中等度
抗がん剤投与量・投与日  イリノテカン100mg/m <sup>2</sup> day1,8,15			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●							●								●													
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●							●								●													
2	主ルート	パロセトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●							●								●													
	点滴静注	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	3 本 / body		●							●								●													
		デキサート注は、3.3mgでも可	/																														
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●							●								●													
	点滴静注	イリノテカン	100 mg / m <sup>2</sup>		●							●								●													
			/																														
4	主ルート	生食50ml	1 本 / body	5 分	●							●								●													
	点滴静注		/									●								●													
			/																														
			/																														
			/																														
			/																														

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

Rp2の後に抗がん剤投与すること

- ・ホスアプレピタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレピタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレピタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。